



- 1 院長年頭挨拶
- 2 クリスマス会
- 3 成人式・サークル活動
- 4 クリスマス・お正月食
人事異動
マイ・ワールド



『第2病棟の壁面は、たくさんの個性的獅子舞が「今年は第2病棟の利用者のみなさんとちぎり絵で楽しそうに踊っています。』
富士山を作りました。力作です!』

令和4年 年頭の挨拶

院長 柳瀬 治

ご利用者・ご家族の皆様、職員の皆様
あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が世界中で拡大し、日本も夏には1日の感染者数が2万5千人を超えるという第5波に見舞われました。そのような中で、利用者にも職員の皆さんにも感染をきたすことなく、事業を継続することができ、また、大きな問題なくオーダリングシステムを導入することもできました。感染対策ならびにワクチン接種の推進、工夫を凝らした日中活動の提供など、ひとえに皆さんのご尽力とご協力の賜物と深く感謝しております。おかげさまで今年も無事に新しい年を迎えることができました。

当センターの使命は、安全で安心できる質の高い療育を提供し、長期入所者の皆様のいきいきとした潤いのある生活と生命を守ること、同時に在宅で過ごされている障害児者の方々を支援していくことです。誰もが第5波の消退とともにパンデミックが収束することを願っていたところですが、残念ながら、新たな変異株「オミクロン株」の出現により急激に感染が拡大し、再び最も弱い方々を脅かしています。万全の感染防止策を講じながら、皆さんと力を合わせて当センターの使命を果たしてまいりたいと思います。オミクロン株の感染力は強力ですが、基本的な感染対策はこれまでと変わりませんし、ワクチン接種が重症化防止に有効と考えられています。希望者にはできるだけ早く3回目のワクチン接種を進めたいと考えておりますので、ご理解とご協力のほどお願いいたします。

最後になりましたが、2022年が皆様にとりまして温かく実りの多い年になることを願いまして、年頭のあいさつとさせていただきます。

病棟・通所の クリスマス会

『みんなで作るお楽しみクリスマス会』

第2病棟 生活支援科指導員 関根 努

2021年12月16日(木)、第2病棟クリスマス会がプレイルームで行われました。

今回のテーマは『みんなで作るお楽しみクリスマス会』。利用者の皆さんにゲームや制作等色々な企画に参加してもらいたいという想いからこのテーマを掲げました。

クリスマス会当日の会場には、大きなクリスマスツリーが描かれた巨大な画用紙と何やら怪しげ?な池が設置されてました。これこそが今回のクリスマス会の2大イベント。クリスマスツリーには、絵の具が入った水風船を画用紙の上に転がし、その水風船を割ることで中の絵の具が弾け、様々な模様を描くアーティストティックなツリーを作りました。そして池に見えたものは釣り堀ならぬ“ツリー堀”。お堀の中からクリスマスオーナメントを釣り上げ、アーティストティックツリーの装飾として飾りました。そして完成した世界に一つだけの2病棟クリスマスツリーを利用者・職員で囲み、カメラに向かって“ハイポーズ”と記念撮影をしました。席に戻ると突然照明が暗くなり、利用者一人ひとりの今年一年の活動や日常生活を撮った写真がスライドショーとして大スクリーンに映し出されました。その映像を見ながらどんなことを思い出していたんでしょうか。そしていよいよ軽食タイム。とその前にクリスマスには欠かせないサンタクロースは…な、なんとあのツリー堀から飛び出してきたのには、利用者や職員もビックリ。軽食を楽しみながらのサンタとの記念撮影では、皆さん楽しそうでした。

プログラムの最後を飾ったのは職員有志によるスペシャルバンド。クリスマスソングの数々を熱唱し、アンコール曲では会場の皆さんと曲に合わせた振り付けで盛り上がりました。あつという間のクリスマス会でしたが、利用者にとって思い出の一日となってくれたら嬉しいです。



『通所にもサンタがやってきました!』

通所係 生活支援科保育士 高橋 達也

2021年の12月は寒い日が続きましたね。そんな中通所では12月20日から12月24日のクリスマスイブまで、クリスマスウィークを開催しました。そんなクリスマスウィークの準備は12月の初めから始まっています。通所の天井には、利用者の皆さんが作ってくれたオリジナルのクリスマスブーツがズラリと並びました!皆さんの個性が光るオリジナルブーツの華やかな雰囲気が、クリスマスらしさを演出してくれます。そしていよいよクリスマスウィークが始まりました!クリスマスウィークでは午前と午後の2部編成で活動を行いました。午前中はミニリース作りです!職員と一緒にリースにつける飾りを選び、オリジナルのリースを作りました。完成したリースはお店で売っている様な出来栄で、個性溢れる作品ばかりでした!

午後の部では皆でゲーム大会です。ボールを転がし、的を倒したら、ツリーに飾るオーナメントをGETします!職員が作った、ミニツリーに飾りつけ、曜日ごとのオリジナルツリーを作りました。キラキラ光るオーナメントを見つめて、「どれを飾ろうかな?」とじっくりと選んでいました。そして帰りの会ではクリスマスソングを皆で演奏すると…?今年もサンタクロースとトナカイが来てくれました!皆が作ったオリジナルブーツの中にはクリスマスカードがいつの間にか入っていて、サンタさんが一人ひとりに配ってくれました!「来年もまた来るよー」と、サンタさんとトナカイは帰って行きました!あつという間に終わったクリスマスウィーク、また来年も皆でサンタさんに会いたいですね。





サークル活動



日中活動充足への挑戦～サークル活動の紹介～

第2病棟 生活支援科主査 高井 直人

2021年4月から始まったサークル活動(ICTサークル・自然と友達サークル)について、2回に渡ってお伝えします。

特別支援学校教員向けの研修会に参加した時の講師の言葉は、今でも覚えています。これからの時代、会議録はキーボード入力から、音声自動入力されたものを添削するだけ、目覚ましアプリを起動しての時刻設定は、スマホに「明日、〇時に起こして」と話しかけるだけになる、テクノロジーは日々急速に進歩している、ついていけてますか…。私の中で「最も弱い人達のためにこそICT機器はある」という言葉が閃くと同時に、腹落ちした瞬間でした。Information and Communication Technologyの頭文字をとったICTは、情報通信技術と訳されます。今まで介助で行っていたことが、ICT機器を活用すれば利用者さんが自分でできるようになる。テレビや映画を観たい時に自分で操作したり、思っていることを職員を介さずに表出したりしている未来がやってくる。想像するだけで、わくわくします。そんな未来への第一歩として、ICTサークル活動を大規模改修工事で新設された部屋で実施しています。2つの病棟から2名ずつ計4名で、スイッチを使った楽器演奏やアーチェリーゲームなどを行っています。今年は寅年、iPadを活用してさらなる高みへ向けてトライアルのみです。



ポイントタッチスイッチを頭で操作してしゃぼん玉を体験



ビッグスイッチを手で操作してアーチェリーゲームを体験



通所 成人式



通所係 生活支援科指導員 井草 由実

2022年1月21日(金)通所での大切な行事のひとつである成人式が行われました。今年度の新成人は通所に通われて2年目となる女性3名男性1名の計4名です。(当日は3名の出席でした)振袖や袴に身を包み、とても華やかでお似合いです。目にした方もいらっしやるでしょうか。白から赤のグラデーションがきれいな梅の花がたくさん咲いている屏風。そしてくす玉や吊るし飾りなど、皆で心を込めて準備しました。式では、それぞれ好きな曲で入場しました。会場の真ん中をゆっくりと進み、少し緊張した表情もみられました。これまでの成長を思い出のコメントと共に流したスライドショーでは、想いのこもった名前の由来も教えて頂きました。支援学校の先生から祝辞も届きました。コロナ禍でなければ出席して頂き、卒業して成長した姿を見ていただける場ですが残念です。コロナが収束し、いつか再会できる日が来ることを願っています。通所からの贈り物は手作りロゼッタと通所みんなで折った紙ヒコーキです。願いをのせてみんなで歌に合わせて飛ばしました。人生の節目となる大切な行事を通所で行わせてもらえることは、とても幸せなことだと感じています。これからの通所での日々が利用者にとって、またご家族にとっても安心して楽しく過ごせる大切な場所となるよう、一緒に過ごして行きたいと思います。



2021年クリスマス 2022年お正月 メニュー紹介

栄養科 管理栄養士 高岩美希



【常食】



【ソフト食】



【ペースト食】

見た目も楽しめるようクリスマスリースのピラフにベル(人参)、ツリーの形をイメージしたマスタードチキンと法蓮草とパプリカ、チーズを雪に見立てたサラダ、ショートケーキを添えて提供をさせていただきました。



【常食】



【ソフト食】



【ペースト食】

伊達巻や昆布巻、かまぼこ、黒豆、松風焼、お雑煮などでお正月らしさを出しました。また華やかさを堪能していただく為、鶴の紅白の練り切りなどもご用意しました。今年も皆様に喜んでいただける食事を提供する事を日々心がけてまいります。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

栄養科 一同



思うこと

感じること

伝えたいこと

Vol. 20

ネタばれしません(決意)

第4病棟 看護師長 美濃 禎久

最初の出会いは、星新一の「宇宙のキツネ」。中学生の頃でした。化けることが得意で、いざというときに食料にもなりうる「宇宙旅行用キツネ」を連れて単独宇宙旅行へ出発したN氏が無事帰還。しかし、そこでお迎えの職員から意外な一言が……。私の「どんでん返し物」好きのスタートです。小説では、ショートショートと呼ばれるジャンルを中心にロアルド・ダールやヘンリー・スレッサーなどに嵌り、映画では、「ステイング」に驚き、「ユージュアルサスペクツ」に感心し、「シックスセンス」は2度観て確認しました。そんなこんなで今では、「ラスト数分でそれまでの・・・」とか「最後の数行で・・・」や「伏線回収」という言葉が大好きな身体となっています。・・・とは言え、それはフィクションの世界でのお話。現実では「オチ」や「意外な結末」のない優しく穏やかな一年を過ごしたいですネ。

編集後記

毎年、新年は初日の出を見に実家近くの土手まで走るのが恒例行事だったのですが…今年も新年早々、省エネモードで甥っ子に写真を撮ってきてもらいました。綺麗な富士山と力強い初日の出を写真で拝ませてもらいました。今年も皆様にとって良い一年になりますように。

(Y・H)



東大和療育センターホームページ

東大和療育センター

検索

そよ風 第105号

編集
発行日
発行

院内報そよ風編集委員会
令和4年1月25日
東京都立東大和療育センター
東京都東大和市桜が丘3-44-10
Tel 042-567-0222